

## 4月5日（日） 2026年度春季リーグ戦第1節2回戦

### 【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
奈学大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
阪公大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 x	2

奈良学園大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

### 【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	河原	4	奈良大学附属	5	3	1	
2	一	上田	4	鳴門	2	0	0	
	打一	河田	1	東海大学付属相模	3	0	0	
3	中	小南	3	北陸	3	0	0	
4	左	森	4	市立和歌山	5	0	0	
	走左	中田	3	上宮	0	0	0	
5	右	南	2	延岡学園	2	0	0	
	打右	中條	2	上宮	3	0	0	
6	三	北峯	4	奈良大学附属	4	0	0	
7	指	島田	3	上宮	2	1	0	
	走指	貝辻	3	奈良商工	0	0	0	
	打指	門野	3	中京	1	1	0	
8	捕	石井	4	八戸学院光星	3	1	0	
9	遊	川鯉	2	上宮	3	2	0	
	走	米井	4	大阪商業大学堺	0	0	0	
	遊	國武	1	東洋大学附属姫路	0	0	0	
投		近藤	4	履正社	-	-	-	
		片岡	3	和歌山南陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	5	1	1	2	36	8	1

### 【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	3	0	1	
2	遊	林	3	大阪明星	3	1	0	
3	二	田中大	3	彦根東	2	0	1	
4	一	菱田	3	関西大倉	4	0	0	
5	指	田中創	4	金沢桜丘	4	0	0	
6	三	越智	2	乙訓	4	0	0	
7	右	野田	3	須磨学園	4	2	0	
8	捕	小田	3	一条	1	0	0	
9	左	川上	2	桐朋	3	0	0	
投		利川	3	西大和学園	-	-	-	
		宮田	3	倉敷青陵	-	-	-	
		川田	4	奈良県立郡山	-	-	-	
		片山	4	府立池田	-	-	-	
合計	三振	四死球(故)	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	12	6 (1)	3	1	2	28	3	2

## 【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球(兼)	失点	自責点
近藤	9	158	34	28	3	12	5	1	1
片岡	2/3	6	3	0	0	0	1(1)	1	0
合計	9 2/3	164	37	28	3	12	6(1)	2	1

## 【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
利川	6 1/3	93	26	24	6	4	1	1	1
宮田	1 2/3	34	9	6	1	2	3	0	0
川田	1	15	5	4	1	0	1	0	0
片山	1	9	2	2	0	2	0	0	0
合計	10	151	42	36	8	8	5	1	1

## 【選評】

昨日の悔しさをバネに、そしてスタンドからの熱い応援を背に、必ず3戦目へ繋げようと全力で挑みました。

本日の先発は利川（経3・西大和学園）。先頭打者に安打を許しますが、難なく後続を抑え好調の滑り出しを見せます。

一方の攻撃は初回、根来（経4・府立生野）が四球で出塁し、すぐさま盗塁を決めます。そして林（工3・大阪明星）が安打を放ちチャンスを広げると、続く田中大（経3・彦根東）の犠牲フライにより1点を先制します。

さらに2回裏、昨日から絶好調の野田（現3・須磨学園）が安打を放つと、小田（医3・一条）も四球で続きます。そして、暴投により一死二三塁のチャンス。ここは惜しくも後続を抑えられ、無得点に終わりますが、序盤から果敢に攻め続け、相手に流れを渡しません。

5回表、ここまで走者を背負いながらも抑えてきた利川ですが、一死から三連打を浴び1点を失います。なおも続く一死二三塁のピンチ。しかし、ここは冷静なピッチングと味方の堅い守備により、最少失点で切り抜けます。

7回表、先頭打者に四球を与え、犠打により得点圏へ進まれたところで利川は降板。後を受けた宮田（工3・倉敷青陵）は四球を許しますが、後続はしっかりと打ち取り無失点に抑えます。8回にも四死球などで満塁のピンチを背負いますが、気迫溢れる投球で得点を与えません。

一方、勝ち越しを狙う打撃陣は、四死球で出塁するものあと一本が出ず、苦しい攻撃が続きます。

9回表は川田（理4・奈良県立郡山）が登板。安打などで走者を背負うも決して動じず、相手打線を無失点に抑えます。

両者一歩も譲らないまま、試合はタイブレークに突入します。

大事な10回表のマウンドを任せられたのは片山（生4・府立池田）。無死一二塁という場面にも物ともせず、先頭打者を三球三振に抑えます。さらに、次打者からも鋭い直球で三振を奪い取ると、小田の盗塁刺しも光り無失点。わずか9球で相手打線を封じ込み、攻撃陣へ良い流れを繋ぎます。

片山の好投に応えたいその裏、小田が見事なバントを決めると、続く川上（工2・桐朋）は申告故意四球により出塁します。そして、一死満塁の絶好のチャンスで打席に入ったのは根来。頼れるリードオフマンが放った打球はライトへの大きな犠牲フライとなり、サヨナラで試合終了。2-1で勝利いたしました。